

正誤表

「統合的ネットワークシステム進化内分分泌学代謝学」に下記に示す誤字脱字がありましたので、お詫びして訂正いたします。

株式会社三原医学社 編集室

<本文>

	誤	正
p.98 上から2行目	leuprorelin	leuprolide
p.109 下から3行目	Q歳までに	10歳までに
p.151 上から11行目	～は有用か?)、Zinc	(Zincの前に⑤を入れて改行する)
p.152 上から15行目	IRI: insulin resistance index	IRI: immunoreactive insulin
p.155 上から6行目	leuprorelin	leuprolide
p.164 上から1行目	phosphatidylinositol	phosphatidylinositol
p.173 下から12行目	glycerol phosphonate shuttle	glycerol phosphate shuttle
p.191 下から9行目	leuprorelin	leuprolide
p.195 上から9行目	～にもかかわらず	～にもかかわらず
p.214 上から19行目	ジャズピア	ジャヌビア
p.214 下から9行目	vitagliptin	vildagliptin
p.226 上から14行目	diabetic polyneuropathy= chronic sesoriomotor neuropathy	(削除)
p.236 上から17行目	AVIQID 試験	AVOID 試験
p.245 上から2行目	心筋拳血	心筋虚血
p.287 下から10行目	LDL/HDL 比<0.5	LDL/HDL 比<2.5
p.339 下から3行目	予後不要	予後不良
p.443 上から17行目	3-βHSD1 変異はあるが3-βHSD2の 変異の報告はない	ヒトでは3-βHSD2 変異はあるが3-βHSD1の 変異の報告はない
p.460 下から1行目	pramilitide	pramintide
p.471 下から7行目	dapagliflozin : GlaxoSmithKline	Bristol-Myers Squibb, AstraZeneca
p.490 上から11行目	Polypil	Polypill
p.520 下から16行目	インスリンは膵臓から	インクレチンは膵臓から
p.529 上から16行目	～を指すにも	～を指すのにも
p.530 上から3行目	正弦関数をで	正弦関数で
p.531 下から6行目	complex diseases 病態を	complex diseases の病態を
p.543 上から8行目	(G-6PD) s deficiency	(G-6PD) deficiency
p.564 下から6行目	Delta-lihe	Delta-like

<図>

	訂正箇所
p.126 図2-38	左やや下方の 抑制 + or 刺激 - は 抑制 - or 刺激 - 中央やや下方の 抑制 - or 刺激 + は 抑制 + or 刺激 +
p.166 図3-8	「トリガー経路」と「増幅経路」の位置が逆
p.372 図9-7	「TZD」から「動脈硬化への抑制」へ直接作用の矢印をいれる
p.530 図11-17	「蛋白レベルでのネットワーク」から「細胞レベルでのネットワーク」に矢印を入れる
p.551 図11-22	GLP-2の後に「受容体」を入れる

<表>

p.208 表3-5	分類の線引きを修正。裏面参照
------------	----------------

<memorandum>

p.259 上から1行目	この章の最初に	p.365 に
p.475 下から3行目	すべての定理は	すべての実験は
p.546 上から1行目	恐竜などのほ乳類が	ほ乳類が恐竜などの

<文献>

	誤	正
p.609 下から10行目	Cambrdige	Cambridge
p.610 上から6行目	Introdcution	Introduction
p.611 下から18行目	Dawin	Dawn
p.611 下から15行目	Meaing	Meaning
p.611 下から4行目	Pandra's	Pandora's
p.612 上から20行目	脳が生だす	脳が生みだす
p.613 下から13行目	「逆システム学△市場と	「逆システム学□市場と

<索引>

p.612 上から23行目	leuprorelin	leuprolide
p.639 下から7行目	RECORD 試験 387, 466	RECORD 試験 381, 466
p.642 上から22行目	Toll-like receptor 13	Toll-like receptor 13, 387, 412, 452, 454, 476, 482, 555

<著者紹介>

p.667 上から4行目	昭和56(1981年)	昭和50年(1975年)
p.667 下から2行目	Clinical Medicine Insights, Endocrinology & Diabetes	Clinical Medicine Insights: Endocrinology & Diabetes

新表3-5

表3-5 日本で市販されている主なインスリン製剤

分類	シリンジ用バイアル製剤	カートリッジ製剤 (= 携帯注入器用) / ディスポーザブルキット製剤*
超速効型 #	ノボラピッド注 # 100単位/mL	ノボラピッド注 #フレックスペン*、 ノボラピッド注イノレット
	ヒューマログ注 # 100単位/mL	ヒューマログ注 #カート (キット* 販売中止)、 アビドラ注 #ソロスター*
超速効型 混合製剤 #	ノボラピッド30ミックス注 # 100単位/mL	ノボラピッド30ミックス注 #ベンフィル (フレックスペン*) ノボラピッド50ミックス注 #ベンフィル (フレックスペン*) ノボラピッド70ミックス注 #ベンフィル (フレックスペン*)
		ヒューマログミックス25 #カート (キット* 販売中止、 ミリオベン*) ヒューマログミックス50 #カート (キット* 販売中止、 ミリオベン*)
速効型	ノボリンR注 100単位/mL	ベンフィルR注 イノレットR注 ノボリンR注フレックスペン*
	ヒューマリンR注 100単位/mL	ヒューマリンR注カート (キット*)
混合型	ノボリン30R注 100単位/mL	ベンフィル10R、20R、30R、40R、 50R注 イノレット10R、20R、30R、40R、 50R注* ノボリン10R、20R、30R、40R、 50R注フレックスペン*
	ヒューマリン3/7注 100単位/mL	ヒューマリン3/7注カート (キット*)
中間型	ノボリンN注 100単位/mL	ベンフィルN注 イノレットN注 ノボリンN注フレックスペン*
	ヒューマリンN注 100単位/mL	ヒューマリンN注カート (キット*) ヒューマログN注カート (キット*、 ミリオベン)
持続型	ヒューマリンU 販売中止	
持効型 溶解 #	ランタス #注 100単位/mL	ランタス #注 (カート、 オブチクリック 販売中止、 ソロスター*) レベミル #注 (ベンフィル、 イノレット、 フレックスペン*)

: アナログ